別紙１

保育提供体制の確保のための実施計画（市区町村全域）市区町村名：　八潮市

１．令和７年度以降の保育需要と提供体制

作成対象：全市区町村

担当者連絡先			
都道府県	埼玉県	担当者名	
市区町村	八潮市	電話番号	
所属（課・室）	子育て支援課	メールアドレス	

保育提供区域	全域	←プルダウン選択してください。複数区域を選択した場合は、様式１－２のシートをつけて提出してください。
保育提供区域の設定の考え方	本市では、居住区域に寄らず、通勤に便利な駅周辺の保育施設を希望するなど、保育園や認定こども園が広域的に利用されている状況にあります。 このことから、利用者の選択肢を居住区域の周辺に限らず、広域的な区域に設定することが教育・保育事業の向上につながると考え、市内全域を１区域として設定します。	

	年齢	令和7年4月1日	令和8年4月1日	令和9年4月1日	令和10年4月1日	令和11年4月1日
		実績	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数
①就学前児童数	０　歳　児	664.	759.	768.	776.	787.
	１・２歳児	1,325.	1,416.	1,495.	1,507.	1,524.
	３歳以上児	2,100.	2,046.	2,019.	2,021.	2,092.
	合　　計	4,089.	4,221.	4,282.	4,304.	4,403.
②（保育ニーズ）申込者数	０　歳　児	140.	193.	193.	193.	193.
	１・２歳児	795.	719.	719.	719.	719.
	３歳以上児	966.	1,049.	1,049.	1,049.	1,049.
	合　　計	1,901.	1,961.	1,961.	1,961.	1,961.
（②／①）申込率	０　歳　児	21.1%	25.4%	25.1%	24.9%	24.5%
	１・２歳児	60.0%	50.8%	48.1%	47.7%	47.2%
	３歳以上児	46.0%	51.3%	52.0%	51.9%	50.1%
	合　　計	46.5%	46.5%	45.8%	45.6%	44.5%
（整備量）利用定員数	０　歳　児	193.	184.	190.	190.	190.
	１・２歳児	678.	682.	715.	715.	715.
	３歳以上児	1,016.	1,075.	1,141.	1,141.	1,141.
	合　　計	1,887.	1,941.	2,046.	2,046.	2,046.
待機児童数	０　歳　児	0.	0.			
	１・２歳児	15.	0.			
	３歳以上児	0.	0.			
	合　　計	15.	0.			

【申込者数(保育ニーズ)算定の考え方】

作成対象:全市区町村

〇毎年度、前年度までの見込みと実績を比較し、乖離が生じている場合には、その要因を精査・分析し、
必要に応じて推計方法の見直しを行うこと。
〇各市区町村の実情に応じた適切な方法に基づき、算定すること。

	申込者数（保育ニーズ）の算定式		算定式に用いた要素の推計方法
算定式		（算定式の例） 就学前児童数×申込率	（文例） 〇就学前児童数 ・令和〇年〇月時点の人口推計を使用 ・過去〇年の就学前児童数の増加・減少率の平均を使用 〇申込率 ・令和〇年〇月に実施したニーズ調査により見込んだ申込率を使用 ・過去〇年の申込率の増加・減少率の平均を使用
	０歳児	・就学前児童数×申込率	（八潮市子ども計画（令和７年度～令和１１年度）より） 〇就学前児童数 ・令和６年４月時点の埼玉県公表の市町村別町（丁）別・各歳別・男女別を使用 ・コーホート要因法にて算出 （過去のデータを基に各要因の影響を推測し、将来の人口動態を予測） 〇申込率 ・就学前児童数/申込者数　※申込者数…申込者の増減率から算出
	１・２歳児	同上	同上
	３歳以上児	同上	同上
加味する要素	要素の有無	無し	←プルダウン選択してください。
	要素の説明		

2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定

作成対象:全市区町村

〇「１.令和７年度以降の保育需要と提供体制の利用定員数（整備量）」にて計画した整備内容及び
定員増減の予定を以下に記載すること。※過年度（令和7年度）のみの整備内容は記入不要。
〇令和8年度の就学前教育・保育施設等整備交付金の協議や保育所等改修費等支援事業の交付申請にあたっては、
以下に記載する整備・改修予定の施設と整合をとること（実施計画の採択が不要かつ定員の増減が生じない整備等は記載不要とする）。

＜集計表（自動転記）＞

以下の①及び②で記載した詳細について、0歳児、1・2歳児、3歳以上児における令和8年度以降の定員増加を図る施設及び定員減少を図る施設の内訳を記入すること。
「1. 令和７年度以降の保育需要と提供体制」における利用定員数の前年度比と「2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定」における各年度の「定員増減数（差引合計）」は一致させること**（詳細は印刷範囲外右記の留意事項を参照）**。

	定員増加を図る施設	定員減少を図る施設	定員増減数 （差引合計）	検算用 （「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制」の利用定員数（整備量）の前年度比）	エラーチェック （当セルにおいて、エラーが生じた場合は、必ず右記の※留意事項をご確認いただき、エラーが生じていない状態でご提出ください。）
令和7年度					
令和8年度	105.0	0.0	105.0	105.0	○
0歳児	6.0	0.0	6.0	6.0	○
1・2歳児	33.0	0.0	33.0	33.0	○
3歳以上児	66.0	0.0	66.0	66.0	○
令和9年度	0.0	0.0	0.0	0.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
3歳以上児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
令和10年度	0.0	0.0	0.0	0.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
3歳以上児	0.0	0.0	0.0	0.0	○

＜表①就学前教育・保育施設等整備交付金の協議や保育所等改修費等支援事業の交付申請を行う場合（定員変更を伴う整備及び定員変更を伴わないが「人口減少対策」の採択による財政支援を受けようとしている整備に限る）＞

埼玉県	施設名称(a)	施設種別(b)	整備区分(c)	定員増減数（数のみ）(d)	(d)のうち 0歳児(e)	(d)のうち 1・2歳児(f)	(d)のうち 3歳以上児(g)	整備年度(h) 令和8年度(i)	整備年度(h) 令和9年度(j)	整備年度(h) 令和10年度(k)	定員増減が発生する年度(l)	活用事業(m)	実施区域(n)
八潮市	○○園（種別変等の申請吉期における教育と保えること。令和9年度以降は未定も可とする）	認定こども園（令和10年以降は未定も可とする）	その他定員変更を伴う整備	-2	-10	15	-10	該当する場合は「○」を選択（整備年度整備を行う場合は、当年度の年度について「○」を選択すること）	該当する場合は「○」を選択（整備年度整備を行う場合は、当年度の年度について「○」を選択すること）	該当する場合は「○」を選択（整備年度整備を行う場合は、当年度の年度について「○」を選択すること）	令和10年度（例えば、R9年4月1日～R10年4月1日までに定員増減が生じる場合には「令和10年度」、R10年4月1日～R11年4月1日に定員増減が生じる場合には「令和11年度」を選択すること。詳細は下記の留意事項を参照。）	保育所等改修費等支援事業（令和9年以降は未定も可とする）	全域 複数区域名
No. 1				0									
No. 2				0									
No. 3				0									
No. 4				0									
No. 5				0									
No. 6				0									
No. 7				0									
No. 8				0									
No. 9				0									
No. 10				0									
No. 11				0									
No. 12				0									
No. 13				0									
No. 14				0									
No. 15				0									
No. 16				0									
No. 17				0									
No. 18				0									
No. 19				0									
No. 20				0									
No. 21				0									
No. 22				0									
No. 23				0									
No. 24				0									
No. 25				0									
No. 26				0									
No. 27				0									
No. 28				0									
No. 29				0									
No. 30				0									
No. 31				0									
No. 32				0									
No. 33				0									
No. 34				0									
No. 35				0									
No. 36				0									
No. 37				0									
No. 38				0									
No. 39				0									
No. 40				0									
No. 41				0									
No. 42				0									
No. 43				0									
No. 44				0									
No. 45				0									
No. 46				0									
No. 47				0									
No. 48				0									
No. 49				0									
No. 50				0									

＜表②①以外の定員増減の予定＞

	施設名称(a)	施設種別(b)	実施内容(c)	定員増減数（数のみ）(d)	(d)のうち 0歳児(e)	(d)のうち 1・2歳児(f)	(d)のうち 3歳以上児(g)	実施内容（c）を行う年度(h)	定員増減が発生する年度（i）	（c）の具体的な内容と理由（j）
埼玉県	△△保育所（未定も可とする）	保育所（令和9年以降は未定も可とする。自由記述）	開園	-10	-2	5	-10	令和8年度	令和10年度（例えば、R9年4月1日～R10年4月1日までに定員増減が生じる場合には「令和10年度」、R10年4月1日～R11年4月1日に定員増減が生じる場合には「令和11年度」を選択すること。詳細は下記の留意事項を参照。）	児童数の減少により閉園
八潮市	○○保育所（未定も可とする）	保育所（令和9年以降は未定も可とする。自由記述）	定員変更	0	7	0	-7	令和8年度	令和8年度（同上の通り）	0歳児の受け皿拡大のため3歳以上児を縮小
No. 1	八潮コスモス保育園	保育所	新設、定員拡大（①以外で整備を行った場	80	6	20	54	令和8年度	令和8年度	保育所新設のため
No. 2	古新田保育所	保育所	新設、定員拡大（①以外で整備を行った場	25	0	13	12	令和8年度	令和8年度	保育所改築に伴う定員増のため。
No. 3				0						
No. 4				0						
No. 5				0						
No. 6				0						
No. 7				0						
No. 8				0						
No. 9				0						
No. 10				0						
No. 11				0						
No. 12				0						
No. 13				0						
No. 14				0						
No. 15				0						
No. 16				0						
No. 17				0						
No. 18				0						
No. 19				0						
No. 20				0						
No. 21				0						
No. 22				0						
No. 23				0						
No. 24				0						
No. 25				0						
No. 26				0						
No. 27				0						
No. 28				0						
No. 29				0						
No. 30				0						
No. 31				0						
No. 32				0						
No. 33				0						
No. 34				0						
No. 35				0						
No. 36				0						
No. 37				0						
No. 38				0						
No. 39				0						
No. 40				0						
No. 41				0						
No. 42				0						
No. 43				0						
No. 44				0						
No. 45				0						
No. 46				0						
No. 47				0						
No. 48				0						
No. 49				0						
No. 50				0						